

八戸市
ため池ハザードマップ
 かわらぎこだ
河原木小田ため池

おもて面

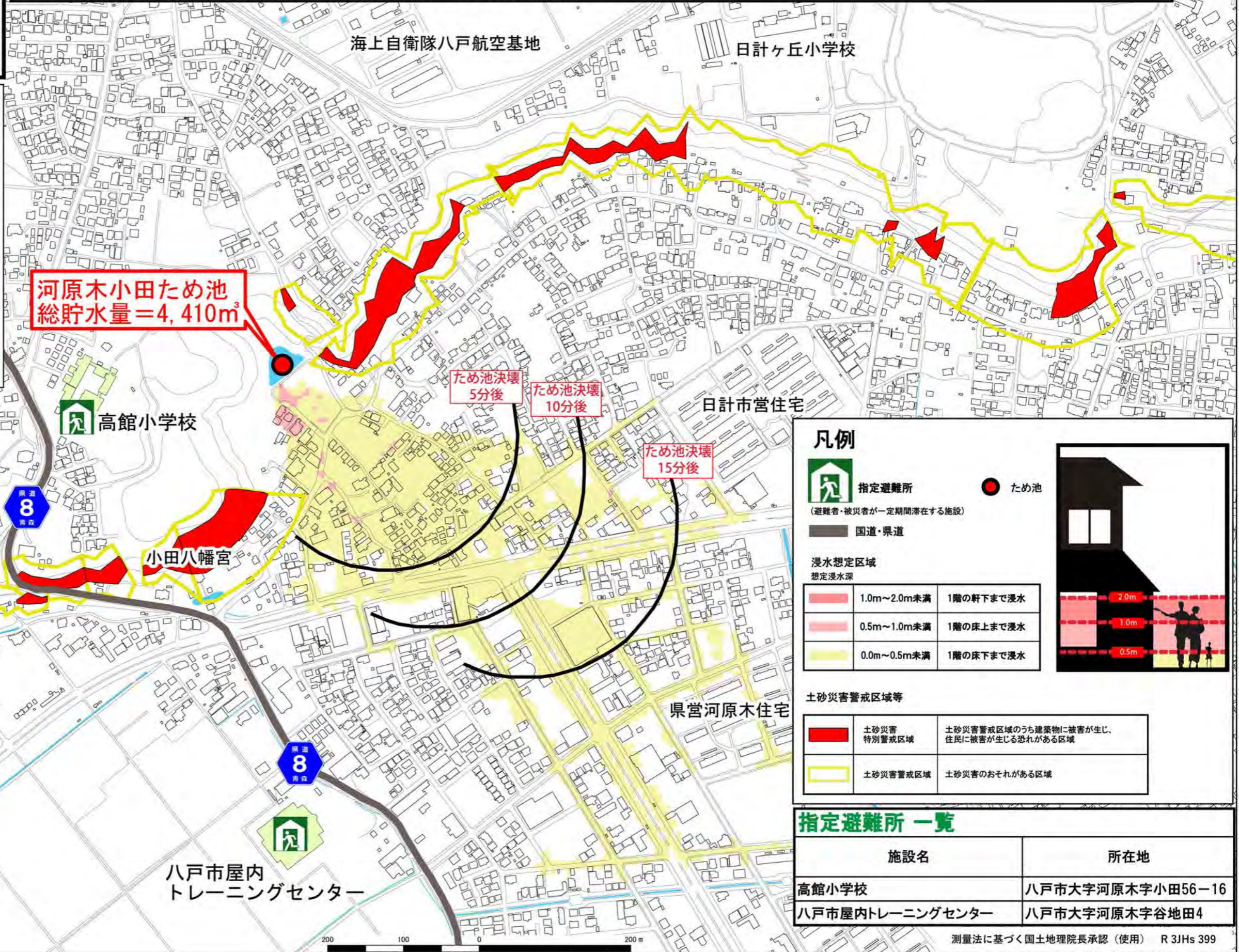
お問い合わせ先 八戸市建設部
 港湾河川課 ☎ 0178-43-9386

八戸市ため池ハザードマップ 検索

■ ため池ハザードマップについて

このハザードマップは大雨(※)や地震により、皆さんの地域にあるため池が決壊した場合に想定される浸水区域や浸水深を示したものです。ご自宅周辺の浸水深さ、決壊後到達時間及び指定避難所等を確認しておき、日頃から災害に備えましょう。

※ 最大日雨量178.8mm/日、最大時間雨量64.3mm/時間 (200年に一度の大雨を条件にシミュレーションを実施)



凡例

指定避難所
 (避難者・被災者が一定期間滞在する施設)

国道・県道

浸水想定区域
 想定浸水深

1.0m~2.0m未満	1階の軒下まで浸水
0.5m~1.0m未満	1階の床上まで浸水
0.0m~0.5m未満	1階の床下まで浸水

土砂災害警戒区域等

土砂災害特別警戒区域	土砂災害警戒区域のうち建築物に被害が生じ、住民に被害が生じる恐れがある区域
土砂災害警戒区域	土砂災害のおそれがある区域

指定避難所一覧

施設名	所在地
高館小学校	八戸市大字河原木字小田56-16
八戸市屋内トレーニングセンター	八戸市大字河原木字谷地田4

八戸市ため池ハザードマップ うら面

■防災情報の入手先

大雨が降り続いたり、地震が発生すると、ため池が決壊する可能性が高まります。

テレビやインターネットなどを通じて、気象庁等が発表する大雨や地震に関する情報を入手してください。



名称	2次元コード
気象庁 https://www.jma.go.jp/	
ほっとスルメール 市からの大雨や土砂災害の情報をメールで入手できます。2次元コードを読み取って空メールを送信するか、 anzenjoho@anshin.city.hachinohe.aomori.jp に空メールを送信してください。	
青森県土砂災害警戒情報システム https://www.dosya-keikai.pref.aomori.jp/	
八戸市 https://www.city.hachinohe.aomori.jp/	

■避難の心得

避難を行う際にもいろいろな危険が潜んでいます。十分注意して、あわてず、すみやかに避難しましょう。



ため池決壊の浸水被害は、溜まっている水が流出し終われば収まるため、短時間で水位が下がります。むやみに移動するのではなく、高い丈夫な建物にとどまる等、命を守る行動をしましょう。



浸水の深さが30cmを超えると自動車は走行困難になります。



動きやすい服装で必要最小限の荷物で避難しましょう。裸足や長靴は危険です。運動靴を履き、一人で避難はせず、必ず複数人で避難しましょう。



テレビ、ラジオ等で最新の気象情報、災害情報、避難情報に注意し、危険を感じたら早めの避難をすることが重要です。



夜間の避難は、周りの状況が確認しにくく、非常に危険です。可能な限り暗くなる前に避難しましょう。



■ため池ハザードマップの活用方法 (普段からの備え)

ため池が決壊する場合は、大雨や地震等による他の災害が複合的に起きている可能性があります。市では、津波・洪水・土砂災害を対象としたハザードマップも公表しているため、このマップと併せて活用し、日頃から災害に備えましょう。



自宅周辺の浸水の深さや、到達時間、避難場所や安全な避難経路の確認をしましょう。



非常食や飲料水は、最低3日分用意し、その他携帯ラジオ、救急医薬品、懐中電灯等を事前に準備しましょう。



■防災情報 5段階警戒レベル

警戒レベル	避難情報等 (必要に応じ、市が発令します)	住民がとるべき行動
5	緊急安全確保	命の危険 直ちに安全確保
~~~~~<警戒レベル4までに必ず避難>~~~~~		
4	避難指示	全員避難 災害が発生する恐れが極めて高い状況等になっており、指定避難所等への立ち退き避難を基本とする行動をとってください。
3	高齢者等避難	高齢者等は避難 避難に時間を要する高齢者等は、速やかに立ち退き避難を開始してください。また、その他の方も立ち退き避難の準備をし、自発的に避難してください。
2		ハザードマップ等で避難行動を確認
1		災害への心構えを高める

## ■ため池決壊のメカニズム

### ○豪雨によるため池の被災形態

区分	被災形態	被災メカニズム
越流破壊		豪雨により、貯水位が急激に上昇し、堤体を越えて流れ出すと、下流斜面を流下することによって、破壊する可能性がある。また、貯水位の上昇により、堤体内の水圧も上昇し、強度が低下して破壊する可能性がある。
すべり破壊		貯留した水と降雨が堤体の中に浸透して、堤体内部の水分量が増加し、堤体の法面部の強度が低下することによって、法面ですべりが発生し破壊する可能性がある。
浸透破壊		堤体内部が劣化して、水を遮る機能が低下すると、貯水位が上昇した時に堤体中の水圧も上昇して強度が低下し、破壊する可能性がある。また、堤体内に上流から下流に向かう水みちが発生し破壊する可能性がある。

### ○地震によるため池の被災形態

区分	被災形態	被災メカニズム
クラック		堤体の頂部などにクラック(亀裂)が発生する可能性がある。堤体の上下流方向に生じるクラック(亀裂)は水みちとなることがあり、特に注意が必要である。
沈下		堤体の形状をほぼ保ち、クラック(亀裂)などを伴いながら堤体が沈下する可能性がある。多くは軟らかい地盤で発生している。
斜面崩壊		堤体法面の上部が沈下し、下部がはらんで変形が生じる可能性がある。
斜面すべり		地震動により堤体の法面にすべりが発生する可能性がある。
崩壊		堤体や地盤が大きく変化し、崩壊する可能性がある。決壊に至ることが多く、堤体や基礎地盤の液状化によるものと考えられる。

作成年月・名称 令和3年10月 八戸市ため池ハザードマップ

お問い合わせ先 八戸市 建設部 港湾河川課 ☎ 0178-43-9386